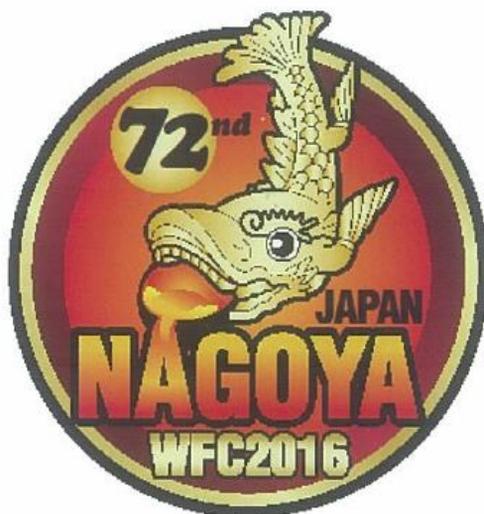


第72回世界鑄造会議

展示会 出展のご案内



公益社団法人 日本鑄造工学会
Japan Foundry Engineering Society

第72回世界鑄造会議 展示部会

1. 展示部会 東海支部チーフ ご挨拶

日本鑄造工学会 東海支部
(トヨタ自動車株 鑄造生技部 部長)

門野英彦

2016年5月21日(土)～5月25日(水)の5日間
名古屋市のポートメッセなごや会場において、日本では
26年ぶりに世界鑄造会議(WFC2016)が開催されます。

この中で開催される展示会は、22日～24日の3日間、
国内外100社以上の出展を見込み盛大に開催する予定
です。

鉄、アルミ、銅合金などの鑄造製品をはじめ、設備、型
、副資材から最新の解析ソフト、3Dプリンターなど、最新の
技術の紹介および交流の場を提供いたします。

展示会場では、商品の展示だけでなく、大型造型機を
はじめ大物機械の実演も可能で、また商品や技術を紹介
頂けるPRコーナーも設置いたします。

出展にあたり、ご来場の方が見やすい展示ができる様
枠取り、レイアウト、実演についてサポートいたします。

展示会の入場料は無料で、世界30か国以上の海外の
方をはじめ、鑄造関係者、関連団体、他業界、学生の方
など1万人以上の来場を見込んでおりますので、新規
顧客や販路の開拓、バリューチェーンの拡大にご活用
下さい。

ぜひ皆様のご出展をお待ち申し上げます。

2. 世界鑄造会議とは

世界鑄造会議は第1回を1923年にパリで開催し、現在では世界鑄造技術機構(WFO)が主催国の協力のもと2年に1度の頻度で開催しています。会議としては、基調講演・技術発表などを通じて鑄造技術の進歩に大きな貢献をはたしています。日本は1954年にWFOに加盟後、1968年京都、1990年大阪とこれまで2度に渡り世界鑄造会議を開催いたしており、今回26年ぶりの2016年に名古屋の地で開催することが決定しております。

3. 展示会の特徴

世界鑄造会議では論文などの技術が中心になりますが、物づくりの基本である現物を見ていただくため、技術展示会も同時に開催いたします。

【展示品】

- 鑄鉄鑄鋼・アルミ合金・銅合金などの鑄造製品。
- 設備・金型、副資材から最新の解析ソフトなど。
- 3Dプリンター技術による新しい造形品などのご提案。

【来場対象者】

- 世界30か国以上の鑄造技術者およびマネージャー
- 国内鑄造関係者、関連団体、他業界
(2012年名古屋開催の日本鑄造工学会全国講演大会時約1万人来場)
- 大学・高等専門学校生

【特徴】

- 造型機はじめ大物機械の実演可能。
- 展示会では商品および技術の紹介を行う、PRコーナーの設置。
- 産学官および関連団体との交流の場を提供。

4. 出展について

- ブースに関して、縦3m・横3mの9m²を1コマといたします。
- 費用については、2コマまでの小ブースでは25万円/コマ、3コマ以上のブースに関しましては、20万円/コマを予定。
- 海外からのご出展時は、入国時の費用は別とさせていただきます。

5. 展示会会場

ポートメッセ名古屋 第3展示館

※ご参考: ポートメッセ名古屋ホームページ <http://portmesse.com/>

第3展示館



図. ポートメッセ名古屋



写真. 展示会のイメージ (ご参考 第160回全国講演大会 国内展示会)